

イスラーム映画祭 10

2025.2.20 THU - 2.24 MON 1 - 0717

islaamicf.com

インターナショナル・イスラーム映画祭 / ifilms / AFD - Typecast Films / Chirades Films / Descriptive International / Diversions / Filmmeasures Film, Ltd. / Loxbox Films / MAD Distribution / nice films / Showman Productions / The Party Film Sales / Wide Management



2/20 THU	12:00 ハリーマの道	14:00 怒れるシーラ	16:30 さよなら、ジュリア	18:55 母たちの村 トークセッション：1	
21 FRI	10:30 チュニスの切り裂き男	12:25 イチジクの樹の下で	14:20 ギャベ トークセッション：2	16:55 カシミール冬の裏側	19:00 シリンの結婚 トークセッション：3
22 SAT	10:00 モーグル・モーグリ	11:50 さよなら、ジュリア トークセッション：4	15:05 母たちの村	17:30 怒れるシーラ トークセッション：5	20:45 ラナー、占領下の花嫁
23 SUN	10:00 シリンの結婚	12:25 ハリーマの道 トークセッション：6	15:25 チュニスの切り裂き男 トークセッション：7	18:15 イチジクの樹の下で	20:10 ギャベ
24 MON	10:00 ラナー、占領下の花嫁 トークセッション：8	12:55 カシミール 冬の裏側 トークセッション：9	15:55 モーグル・モーグリ トークセッション：10	18:45 神に誓って トークセッション：11	

全席指定席です。各回10分前より開場いたします。上映作品が予告なく変更となる場合がございます。また上映素材によっては映像や音声に不具合のある場合がございます。

20 THU トークセッション：1 『母たちの村』上映後 女性性器切除(FGM/C)は誰のため？ —「宗教」と「開発」二つのナラティブをめぐって Guest: 嶺崎寛子氏 成蹊大学文学部 教授	21 FRI トークセッション：2 『ギャベ』上映後 「検閲」を「芸術」で華麗に乗り切る イラン映画の十八番 Guest: 村山木乃実氏 日本芸術院奨励会特別研究員 PD (東京大学)	21 FRI トークセッション：3 『シリンの結婚』上映後 トルコ系移民とドイツ社会 —映画がもたらした危険な運動 Guest: 渋谷哲也氏 ドイツ映画研究者/日本大学文理学部 教授
22 SAT トークセッション：4 『さよなら、ジュリア』上映後 なぜ「さよなら、南スーダン」になったのか？ —歴史に翻弄されたスーダン人の今と未来 Guest: 丸山大介氏 防衛大学校 准教授	22 SAT トークセッション：5 『怒れるシーラ』上映後 ブルキナファソの女性監督が世界に訴える、 “サヘル危機”とは？ Guest: 岩崎有一氏 ジャーナリスト/アジアプレス	23 SUN トークセッション：6 『ハリーマの道』上映後 ボスニア紛争終結から30年 —今なお根柢が続く民族融和への道 Guest: 鈴木健太氏 神田外国語大学グローバル・リベラルアーツ学部 准教授
23 SUN トークセッション：7 『チュニスの切り裂き男』上映後 シャラート、お前は誰だ？！ —映画(フェイク)で皮肉のアラブの男性社会 Guest: 佐野光子氏 アラブ映画研究者	24 MON トークセッション：8 『ラナー、占領下の花嫁』上映後 ある日のエルサレム《占領》という日常 Guest: 岡真理氏 早稲田大学文学学術院 教授/アラブ文学者	24 MON トークセッション：9 『カシミール 冬の裏側』上映後 ようやく可視化されつつある紛争 —カシミールと映画の長い道のり Guest: 拓樹氏 中央大学・政策文化総合研究所 客員研究員
24 MON トークセッション：10 『モーグル・モーグリ』上映後 “トバー・テーク・シン”はどこか —リズ・アーメッドが描くアイデンティティの姿 Guest: 栗田知宏氏 東京外国語大学南アジア研究センター特定研究員	24 MON トークセッション：11 『神に誓って』上映後 「神の名をもてあそぶな」 —ショエーブ監督の黒標と9.11後のパキスタン Guest: 故・麻田豊氏 ウルドゥー語学文学/インド・イスラーム文化研究者	※第1回イスラーム映画祭2015年 12月13日の『神に誓って』上映時 にお話しいただいた席の模様を、ご遺族の 許諾のもと動画(約35分)にてお送り いたします。

動画撮影、録音は固くお断りいたします。ゲストが予告なく変更、またはトークセッションが中止となる場合がございます。トーク時間は各回45分～1時間を予定しています。

一般 1800 円 ※前売券の販売はございません

会員・シニア・大学・専門学校生以下 1300 円

障碍(がい)のある方 1000 円 (付添いお一人様まで有効)

オンライン
チケットは
こちらから

上映日3日前から各回上映開始1時間前まで、
ユーロスペースHPよりオンラインチケット
購入が可能です。同劇場窓口でも上映日3日前
の開館時間よりご購入できます。
<http://www.euro-ticket.jp/eurospace/schedule/>

EuroLive

ユーロライブ
(ユーロスペース階下)

住所
東京都渋谷区円山町1-5
お問い合わせ
03-3461-0211
(ユーロスペース)
URL
www.eurospace.co.jp

TIMETABLE

TALK SESSION

TICKET/ACCESS

UK 日本初公開



『モーグル・モーグリ』

監督：パッサム・ターリク
原題：Mogul Mowgli 製作国：イギリス＝アメリカ
2020年 89分 英語 / ウルドゥー語

NYを拠点とし、欧州ツアーの出演が決まったラッパーのゼッド。恋人に、ルーツを歌いながら家族を避けている自らの矛盾を突かれた彼は、ツアー前に英国の親許へ帰郷する。しかし、ある晩倒れ、自己免疫疾患との診断を受ける…。

【解説】パキスタン系の英国人俳優でラッパーのリス・アーメッドが、自身を撮影した作品です。移民の第2世代、ムスリム、父親との確執など、ルーツと向き合わざるをえなくなった主人公の混沌とした内面が、独創的に描かれます。

TUNISIA 日本語字幕初公開



『チュニスの切り裂き男(シャッラート)』

監督：カウサル・ビン・ハニーヤ
原題：Le Challat de Tunis 英題：The Challat of Tunis
製作国：チュニジア＝フランス＝UAE＝カナダ 2014年 90分 アラビア語

革命前の2003年に、複数の女性がバイクに乗った男に切りつけられるという事件があった。人々は犯人を“切り裂き男(シャッラート)”と呼んで噂したが、その姿を見た者はない。革命後、作者は噂の真相を求めて映画制作を始めるが…。

【解説】独裁政権時代に起き、真相が不明のままになっている女性への暴行事件をテーマにした作品です。“疑似”ドキュメンタリーの手法を混ぜながら、革命前から変わらず女性が生きづらいチュニジアの男性優位社会を諷刺しています。

PALESTINE 劇場初公開



『ラナー、占領下の花嫁』

監督：ハーニー・アブー＝アスアド
原題：Al-Qods fee yom akhar 英題：Rana's Wedding
製作国：パレスチナ＝オランダ＝UAE 2002年 86分 アラビア語

イスラエルの占領下、ある日のエルサレム。ラナーは父親から、自分とエジプトに行くか、4人の候補から夫を選び結婚するかを二択を迫られる。ハリールという恋人がいるラナーは、父親の出発までに結婚しようと彼に会いにゆく…。

【解説】『パラダイス・ナウ』などで知られる作者が、初めて製作したパレスチナ映画です。第2次インティファダ最中の東エルサレムで撮影され、占領下でも日々を前向きに生きようとする、パレスチナ人の抵抗の精神が描かれます。

SUDAN 日本初公開



『さよなら、ジュリア』

監督：ムハンマド・コルドファーニー
原題：Wadaean Julia 英題：Goodbye Julia 製作国：スーダン＝エジプト＝ドイツ＝フランス＝サウジアラビア＝スウェーデン 2023年 120分 アラビア語

2005年、南部の解放運動が続くハルツーム。夫の命令で歌手をやめたモナはある日、自分の過失から取り返しのつかない悲劇を招く。罪悪感に苦しむ彼女は、真相を隠したままその被害者の妻ジュリアと息子の面倒を見ることに…。

【解説】南スーダン独立前の時代を背景に、ある事件を機に出会った北部人のムスリム女性と、南部人のキリスト教徒女性の日々を描いたドラマです。2人の関係に南北スーダンが重ねられ、人種差別や宗教の問題が繊細に語られます。

TUNISIA 日本初公開



『イチジクの樹の下で』

監督：エリーゲ・セヒリー
原題：Taht alshajra 英題：Under the Fig Trees
製作国：チュニジア＝フランス＝スイス＝ドイツ＝カタール 2022年 93分 アラビア語

フィディとメレクの姉妹をはじめ、労働者たちは夜明けとともに集まり、トラックに乗ってイチジク摘みに出かける。中には、地元に戻ってきたメレクの元カレ、アブドゥもいた。敬虔なサナーはフィラスとの結婚を望んでいるが…。

【解説】チュニジア北西部の果樹園を舞台に、老若男女の農業従事者たちの1日を描いた群像劇です。登場人物たちが繰り広げる人間模様から、恋愛、人生、労働、搾取、性差別、世代、信仰をめぐる様々な価値観が浮かび上がります。

IRAN 日本初公開



『ギャベ』

監督：モフセン・マフマルバフ
原題：Gabbeh
製作国：イラン＝フランス 1996年 74分 ペルシャ語

絨毯(ギャベ)を洗う老夫婦の前に、一人の娘が現れる。自らをギャベと名乗る娘は、問われるままに自分の身の上を語り出す。遊牧民の一家に生まれた彼女はある日、狼の声を持つ男に恋をするが、父親はよそ者との恋愛を許さない…。

【解説】主にザグロス山脈の麓に暮らす遊牧民が織る絨毯(ギャベ)の美しさに、寓話的な恋物語を託したファンタジーです。赤青黄を基調とする鮮やかな映像が、イラン社会は色彩を失っているとする作者の批判精神を表しています。

BURKINA FASO 日本初公開



『怒れるシーラ』

監督：アポリヌ・トラオレ
原題：Sira 製作国：ブルキナファソ＝セネガル＝フランス＝ドイツ 2023年 122分 フラニ語 / モシ語 / フランス語 / 英語

フラニの女性シーラとその一族は、キリスト教徒の婚約者家族のもとへ向かう途中、武装組織に襲撃される。抵抗したシーラは拉致され、凌辱を受け砂漠に捨てられてしまう。彼女は砂漠をさ迷い、やがて組織の基地にたどり着くが…。

【解説】非道なジハード主義者に家族と尊厳を奪われた遊牧民女性の、生きるための闘いと復讐を描く物語です。不安定な情勢が続くサヘル地域の実情を織り込みながら、無力な犠牲者としか見なされない女性たちに声を与えています。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。

GERMANY 日本初公開



『シリンの結婚』

監督：ヘルマ・ザンダース＝ブラームス
原題：Shirins Hochzeit 英題：Shirin's Wedding
製作国：西ドイツ 1976年 121分 ドイツ語 / トルコ語

トルコの農村に住む若い女性シリン。父親が絡むある一件により政略結婚させられることになった彼女は、幼い頃に結婚の約束がなされたマフムードを追い、ドイツのケルンへと逃げる。工場で働き、友だちもできるシリンだったが…。

【解説】生涯にわたり女性をめぐる問題を掘り続けた作者が、ドイツ国内の移民をテーマに製作した作品です。劇場公開前にTV放送されるや賛否渦巻く大反響を呼び、シリン役の俳優はトルコの愛国主義者から殺害予告さえ受けました。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。

INDIA (KASHMIR) 日本初公開



『カシミール 冬の裏側』

監督：アーミル・バシール
原題：Maagh 英題：The Winter Within
製作国：インド＝フランス＝カタール 2022年 99分 ウルドゥー語 / カシミール語

ナルギスは消息不明の夫を捜すため、スリナガルで住み込みの家政婦やショール織りをして金を稼いでいた。しかし、夫が抵抗運動に参加していた事実が雇い主に知れ、追い出されてしまう。ナルギスは夫と暮らしていた村に戻るが…。

【解説】1947年の分離独立以来、インドとパキスタンの対立要因となっているカシミールの現実を、カシミール人監督が現地の視点で紡いだ物語です。主人公が織る美しいショールが、凍てついた風景にかすかな温もりを与えます。

SENEGAL



『母たちの村』

監督：ウスマン・センベース
原題：Moolaade 製作国：セネガル＝ブルキナファソ＝モロッコ＝チュニジア＝カメルーン＝フランス 2003年 125分 バンバラ語 / フランス語

西アフリカのとある村。シレ家の第二夫人コレのもとに、ある日4人の少女が割礼から避難してくる。割礼が原因で二度の死産を経験し、娘のآمサトゥに割礼を受けさせなかったコレは、少女たちの“モーラーデ(保護)”を始めるが…。

【解説】「アフリカ映画の父」と呼ばれた作者が、今もアフリカを中心に世界各地に残る“女性性器切除(FGM/C)”の廃絶を願って作った、勇気ある女性たちの物語です。割礼とモーラーデ、二つの伝統的慣習を対比させて描いています。

※本作には暴力的なシーンがございます。

BOSNIA and HERZEGOVINA 日本初公開



『ハリーマの道』

監督：アルセン・アントン・オストイッチ
原題：Halimin put 英題：Halima's Path 製作国：ボスニア・ヘルツェゴビナ＝クロアチア＝スロベニア＝ドイツ＝セルビア 2012年 97分 ボスニア語 / クロアチア語

紛争終結から5年。ボスニア西部の村に住むムスリム女性ハリーマは、紛争中、セルビア組織に連行され処刑された夫と息子を捜していた。やがて遺体は見つかるが、彼女はそれが息子であると証明するためのDNA提供を拒否する…。

【解説】1990年代にセルビア人、クロアチア人、ボシュニャク人(ボスニア・ムスリム)の間で交わされた、ボスニア紛争の傷痕を照らすドラマです。理不尽に愛する者を奪われ、傷ついた人々の癒えない悲しみが丁寧に描かれます。

PAKISTAN アンコール



『神に誓って』

監督：ショエーブ・マンスール
原題：Khuda Kay Liye 英題：In the Name of God
製作国：パキスタン 2007年 168分 ウルドゥー語 / 英語

ラホールでポップデュオを組んでいる兄弟。しかし、弟が過激な思想に感化されて音楽をやめてしまい、兄は弟を心配しながらもNYに音楽留学する。一方、ロンドンに住む従妹のマリアムは、英国人との結婚を快く思わない父親に…。

【解説】過激なイスラーム主義者と穏健なムスリムとの軋轢や、欧米に蔓延するイスラーム嫌悪など、“9.11”以降のイスラーム社会が抱える葛藤を描いた社会派ドラマです。本国で大ヒットし、一大センセーションを巻き起こしました。